



協定書を手に握手する岡本伊賀市長と北川名張市長

力を合わせ ふるさとの持続を

伊賀市と定住自立圏形成に関する協定を締結（10/22）

伊賀市を中心市とする「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」（伊賀市、京都府笠置町・南山城村、奈良県山添村）に、名張市も加わるため、10月22日に伊賀市と協定を結びました。

伊賀市とは、すでに救急医療の輪番制や消防指令センターの共同運用などの連携を進めてきましたが、さらに広域での連携を強めていくため、今後、新しく5市町村で「共生ビジョン」を策定予定。連携協力しながら、圏域全体として必要な生活機能を確保していきます。



市 HP

豊島区と交流しました！

豊島区で交流都市協定 20 周年記念事業を実施(10/18)

名張で生まれた江戸川乱歩は、晩年、東京都豊島区で過ごしました。「生誕地の名張市」「終焉の地の豊島区」という縁から2004年3月に交流都市協定を結んでいます。

今年、協定締結20周年を記念し、豊島区の立教小学校の児童と交流しました。名張からは「名張子ども狂言の会」に所属する子どもたち5人と大蔵流狂言師の茂山宗彦もとひこさんが参加。豊島区の子どもたちに、狂言について指導と演技を披露すると、みんな興味津々で体験しました。



ワークショップや買い物を楽しむ来場者

名張産を楽しもう！名張の万博

アスピアで名張 EXPO2024 を開催 (9/21・22)

名張 EXPO2024 が9月21日・22日にアスピアで開催され、2日間で3,158人が来場しました。

アートフラワーデザイン会社や新聞社など、ものづくり企業が共同し開催。古新聞でのバッグづくり体験や販売ブースでは、来場者から「地元こんな企業があったんだ」「ワークショップで作る楽しみを堪能できた」との声も。来年4月に開幕する大阪・関西万博に合わせ、公式キャラクター「ミャクミャク」も登場しました。

主催の代表である今野 亮平さんは「SDGsの推進や地域活性化に貢献したいなど、趣旨に賛同する企業や来場者で去年の3倍の人出に。次年度以降もさらにアップデートして、より多くの人に活動を知ってほしいですね」と語ってくれました。



名張生まれの商品を購入



アートフラワー体験で自分だけのグッズを制作！